

自由が丘駅周辺地区『自由が丘未来ビジョン』策定に向けたアンケート調査結果【概要】

I. 実施概要

- 周知方法：自由が丘駅周辺地区（約76ha）にまちづくりニュースを全戸配布
（自由が丘1～3丁目、緑が丘2丁目、中根1丁目23～25番）
- 回答方法：① WEB回答ページによる回答
② 回答用紙による回答
（自由が丘住区センターと目黒区役所に回答用紙と回収箱を設置）
- 回答対象者：① 自由が丘駅周辺地区にお住まいの皆様
② 通勤・通学、お買い物や習い事等で自由が丘駅周辺を訪れる皆様
- 回答時期：令和4年6月14日（火）～7月5日（火）
- 回答数：179件（WEB：161件、回答用紙：18件）

II. 結果

1. 自由が丘駅周辺の街づくりにおいて、積極的に取り組むべき課題について【複数回答】



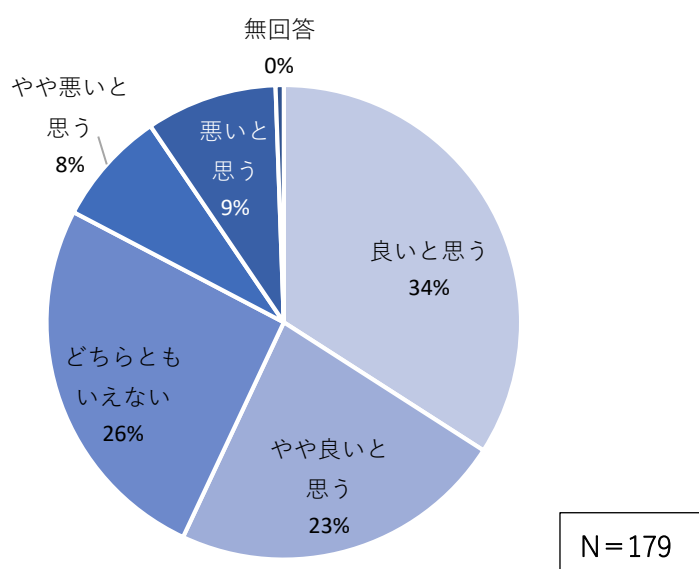
【その他の回答】

- ・歩行空間と自動車道路の分離
- ・子どもや赤ちゃん連れが安心して歩行できたり休憩できたりする場所の確保
- ・歩行者のマナー改善。我が物顔で道路を歩きすぎ。
- ・自由通りと学園通りは、歩行者、自転車、自動車、トラックなどが行きかい道幅も狭いため危険を感じます。これらの通りは一方通行にし、歩行者と自転車の通り道を確保すべきだと日々感じます。特に週末は歩行者が増えるため危険です。安心して歩行者、自転車が通行できるよう整備してほしいです。
- ・バス路線の充実。今は路線とバス停が分かりにくいです
- ・十分な駐輪場、駐車場を設けること。
- ・塾、老人施設、近隣で待つ車両が多すぎる。一時駐車スペースを持たない施設は新規に受け入れ無い事と既存施設には完備させる条例を作る
- ・自然災害、交通災害等あらゆる災害を未然に防止する街基盤（インフラ）の整備
- ・補助幹線道路の整備。駅前をウォークアブルにするためには、周辺の道路インフラが脆弱過ぎる。
- ・住環境を、これ以上、悪化させないこと
- ・騒音、振動、日照低下等で住環境を悪化させないこと
- ・商店街ファーストな街づくりはやめて貰いたい
- ・昨今、各所で大規模なビルを使った都市開発が進んでいます。しかし、30年先を考えると、人口減少の影響もあり、大規模ビルの都市計画は問題が発生する可能性があると思います。自由が丘は従来より小さいお店（非チェーン店）で構成されておりそれが最も魅力的であります。よって、小規模で魅力的な建替えの推進や補助金等の制度、他の街とは違う自由が丘らしい自由が丘オンリーの街づくりを進めていただきたい。
- ・東横線沿いの二階建て"デパート"を是非とも何とかしていただきたい。
- ・住宅地を背景とすることを強みにできる新たなビジネスや文化的活動が生まれる環境づくりを支援すること
- ・住人、事業者、地主が一体になりよい街をつくる。
- ・サステナブルな社会の在り方を先取りした実験的な取り組み（と、それによる他の街との違いが明確な街づくりでターゲット層を呼び込み、まち消費に選ばれる街をつくる）
- ・トイレの充実
- ・自由が丘駅外の公衆トイレを綺麗にして欲しい
- ・ミサイル着弾に備えてシェルターを設置すること。緑地公園を設置すること。
- ・ネズミ駆除

2. まちの利用者(ターゲット)について【単一回答】

新産業創造地域の中核部として新しい利用者を増やしていく発想をしていますが、その発想に対してどのようにお考えですか？

良いと思う	やや良いと思う	どちらともいえない	やや悪いと思う	悪いと思う	無回答
61	41	46	14	16	1
34%	23%	26%	8%	9%	1%



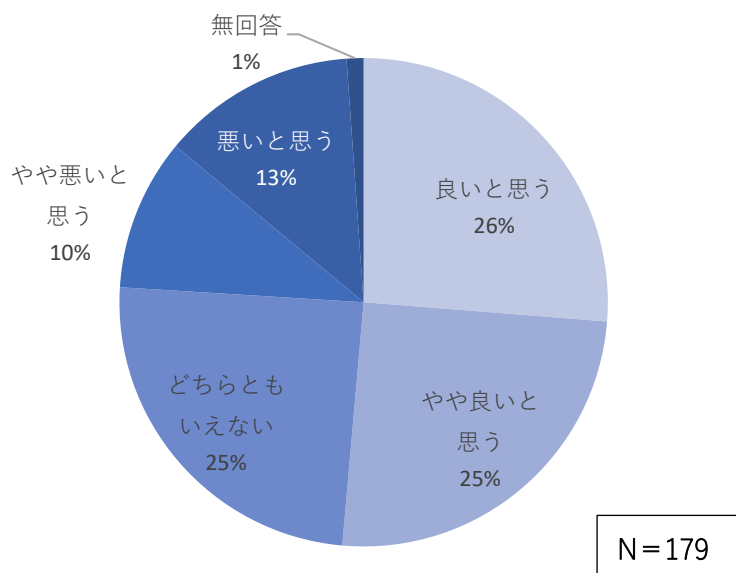
【自由記述における主なご意見】

- ・ **新しい利用者を増やす必要はない。** 街が混雑し、これまでの雰囲気やマナーが壊される。
- ・ 自由が丘で生活する人が増えることが大切。 **利用者が増えれば商店も潤い、街の発展につながる。**
- ・ 1番大切なのは、 **地域住民が安心、安全に自由が丘という好きな街で暮らせること。** 自由が丘の良いところを守りつつ、自由が丘ファンによる来街者と共存できる街であってほしい。
- ・ まちの「新しい」利用が増えることは、「まち」自身の新陳代謝と促し、多面的かつ多様な「まち消費」を喚起するという意味では必要。一方、 **地域住民にとって暮らしやすい、生活しやすいまちであるべきで、まちづくりの軸足の置き方には最大限留意してほしい。**
- ・ 自由が丘らしさがなくなりどこにでもある街ようになる危険性がある。 **自由が丘らしさを守るべきであり、新産業創造中核地域を自由が丘に設ける理由が全く見当たらない。**
- ・ **今までの伝統を残しつつも新しい街に生まれ変わることも必要。**
- ・ 自由が丘は、親子連れの街、スイーツの街という古いイメージのまま進化しておらず（存在感の希薄化）、新しい店舗や産業が入ってこない遅れた街の印象。 **知的産業を中心とした企業や事業が進出したくなるような、新しい価値観を発信する街として注目される街となってほしい。**
- ・ 常に新しいターゲットを追求することは、都市のあり方として健全だと思う。ただ、 **新産業創造というのが今ひとつイメージできない。**

3. まちの利用者(ターゲット)の受け皿について【単一回答】

駅中心をボリュームアップして人口の受け皿を作る発想をしていますが、その発想に対してどのようにお考えですか？

良いと思う	やや良いと思う	どちらともいえない	やや悪いと思う	悪いと思う	無回答
47	45	44	18	23	2
26%	25%	25%	10%	13%	1%



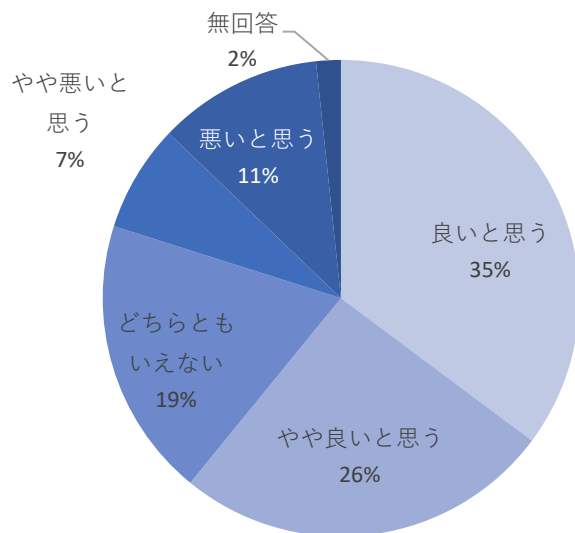
【自由記述における主なご意見】

- ・駅近傍における“路面商業、を立体的に拡充する自由が丘ならではの建物利用の工夫に賛成。
- ・人の流れが他面的に作られる道で奥行きができるという発想は良いが、個性的な路面店がさらに発展できるような工夫をしてほしい。
- ・駅中心部が商業なり、住居なりボリュームアップされるのは街をより活気づけると思うため良いと思う。一方、高層化が進むのは街のイメージには合わないと思う。
- ・一定のボリュームアップはあってよいが、大小、高低のビルがスケールミックスした街になってくだろう。そうしたことに応じた街並み像を描き、容積の配分、やりとりの仕組みを考えたい。人口の受け皿＝住宅を作るのではなく、多彩な機能や活動の受け皿であることは明確にしておきたい。
- ・自由が丘の街は基本的に高層はふさわしくない。駅直近は容積増が求められているようだが、それでも、階数をそれほど増さずに、路地と抜け道（街路と建物内通路の連続）を用意して、緑に包まれた低中層空間とする。
- ・そもそも自由が丘に人口の受け皿を作る必要性を感じない。建物を新しくすることは良いと思うが、大きな建物を作って短期的な経済的効率性だけを求めて自由が丘らしさを失わせることだけはやめてほしい。
- ・道路基盤が脆弱。インフラ整備とセットで人口を増やしてほしい。

4. まちのナカミについて【単一回答】

商業だけではなく、多様性を備えたビルを誘導する発想をしています。その発想に対してどのようにお考えですか？

良いと思う	やや良いと思う	どちらともいえない	やや悪いと思う	悪いと思う	無回答
63	46	34	13	20	3
35%	26%	19%	7%	11%	2%



N=179

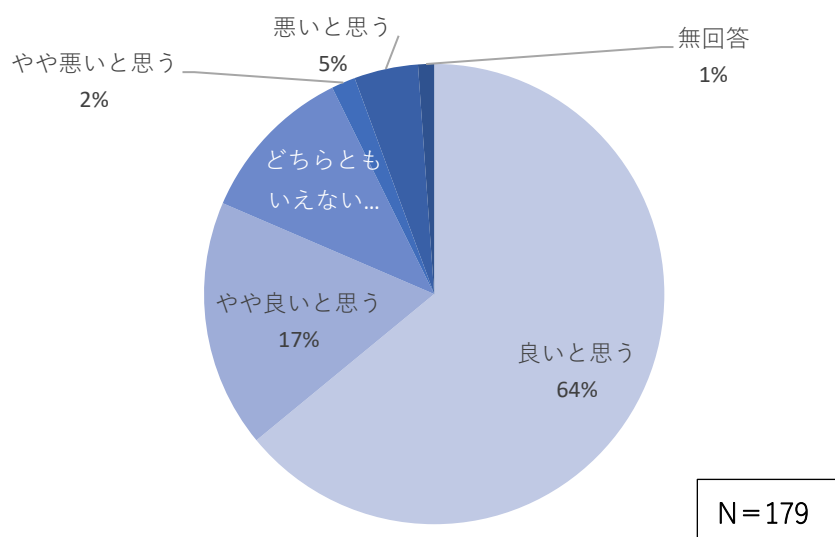
【自由記述における主なご意見】

- ・高層ビルによりバランスを崩したく無い。低層である事がこの街の特徴。
- ・大きなビルのない街こそが自由が丘の特徴であり、高層ビルによる再開発地域との差別化が大事。
- ・多様な施設が生まれるのは良いことだが、高層ビルをつくることで今の心地よい街並みを損なうことだけはやめてほしい。
- ・自由が丘という魅力的な独自の文化と景観を有した街の軸がブレない範囲での多様性でありたい。
- ・自由が丘の規模を尊重して、高層化・高密度化するのではなく、歩いて散策するのに適した今の路面店の良さを生かしていくべき。漠然と多様性とするのではなく、自由が丘らしく遊歩道や住宅街を生かした商業施設を展開すると良い。
- ・ありきたりなお店ばかりになると、商業的で武蔵小杉や二子玉川に似たような待ちになってしまうため、自由が丘独自のカルチャーを踏まえた建物にしてほしい。
- ・多様性を備えたということがどんなものがよくわからない。

5. まちの環境について【単一回答】

緑を立体的に連続させていく街並みを展開する発想をしていますが、その発想に対してどのようにお考えですか？

良いと思う	やや良いと思う	どちらともいえない	やや悪いと思う	悪いと思う	無回答
114	31	20	3	8	2
64%	17%	11%	2%	4%	1%



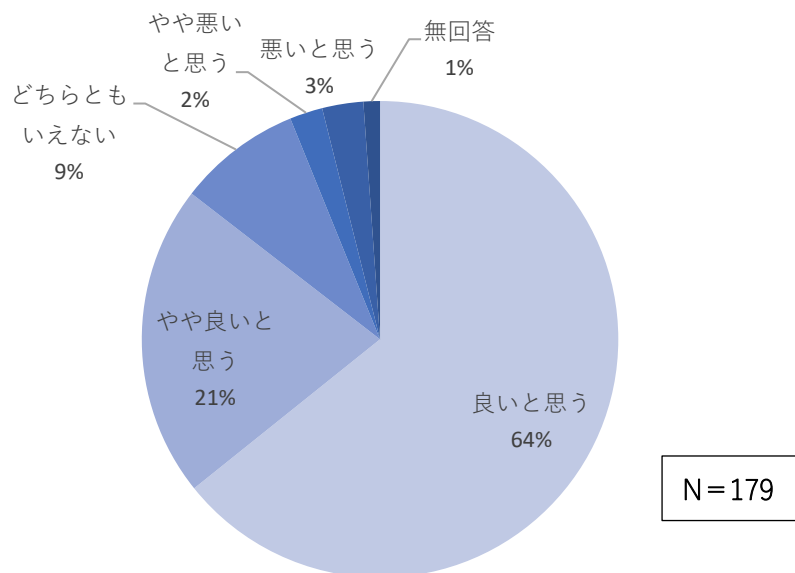
【自由記述における主なご意見】

- ・緑あふれる街であれば素晴らしい。緑が多いことは街のイメージアップにつながる。
- ・癒し、暑さ対策、目に優しい緑化は必要。自然や緑は人々の心の豊かさをもたらしてくれて良い。景観的にも、ヒューマンスケールとしても、人に憩い優しさをもたらす緑化は必要不可欠。
- ・立体的と自由が丘の平面的なところを上手く融合した街づくりならよい。
- ・立体的にというのはビルの緑化を指すのであれば反対。ビルありきの緑化ではなく、街歩きしたときに緑を直接感じることでできる街路樹や緑道の保存、街中の花壇整備を進めるだけで魅力的な緑化が可能だと思う。
- ・緑の「立体的な連続」は、持続可能な発想なのか？緑は地上レベルに増やすべきで、人工土壌で緑を育成するのは、維持管理のエネルギーと環境負荷が大きすぎる。成熟した街として安定的に維持管理できる緑を増やすべき。
- ・現在も個々に緑を増やすよう努力しているが、これが街全体で取り組めば、より効果的。
- ・熊野神社その他のスポット的な緑のみならず、そこら中に緑を増やす。それには「立体的に連続させる」という考えはよい。公共空間だけでは達成できないので、後のエリアマネジメント活動を活性化するなどして、緑を民地側の協力を得て増やすべき。

6. まちの都市基盤(道路や鉄道、広場等)について【単一回答】

歩いて楽しく、心地よい“ウォーカブルゾーン”を形成していく発想をしていますが、その発想についてどのようにお考えですか？

良いと思う	やや良いと思う	どちらともいえない	やや悪いと思う	悪いと思う	無回答
115	38	15	4	5	2
64%	21%	8%	2%	3%	1%



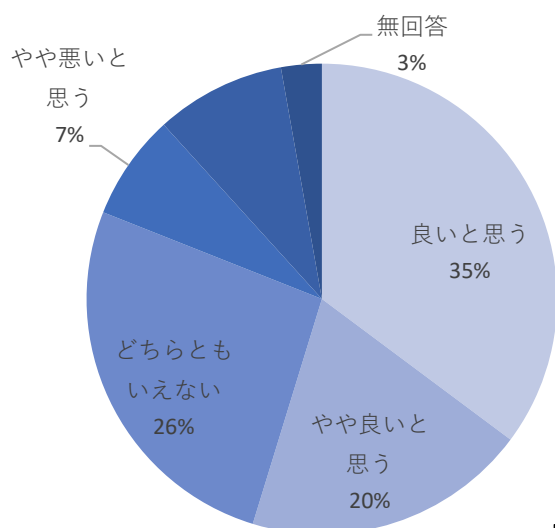
【自由記述における主なご意見】

- ・歩いて楽しい街をつくって欲しい。楽しく歩けることは、街を豊かにする一環。安心安全でだれもが楽しく快適に移動でき、滞留もできるウォーカブルゾーンは必要。
- ・自由が丘は歩いてこそ楽しい街だと思う。そうあり続けてほしい。
- ・車を気にせずゆっくりあるきたい。とにかく歩きやすい街にしてもらいたい。
- ・街区の角にポケットパークのような小さな植栽と座れるような場所等があると良い。
- ・自由通り・学園通りともに通行し辛い。セットバックや一方通行は難しいと思うが、良いアイデアが見つかってほしい。
- ・車両侵入の時間制限を工夫してどうか。
- ・歩行者優先は当然だが、東横線や大井町線との踏み切りや高架での交差は大変難しい問題で優先度も高いと思う。電柱無柱化や共同溝、踏切の歩行部分の拡幅などを至急検討してほしい。
- ・駅中心部をウォーカブルにするために、自由通りや学園通りの自動車交通量を増加させるのであれば反対。なぜ自由が丘のような小さな街に幹線道路が2本も必要なのか。なぜ鉄道立体化などを通じて通過交通を増やすような施策を実施するのか理解できない。
- ・自転車駐輪場をもっと増やしてほしい。
- ・ウォーカブルゾーンの意味が分かりにくい。

7. まちづくりの目標を示す“コンセプトワード”について【単一回答】

“『まち消費』に選ばれ続けるまちづくり”というコンセプトについて、どのようにお考えですか？

良いと思う	やや良いと思う	どちらともいえない	やや悪いと思う	悪いと思う	無回答
63	35	47	13	16	5
35%	20%	26%	7%	9%	3%



N = 179

【自由記述における主なご意見】

- ・ 基本的には賛成だが、あくまでも今の自由が丘の雰囲気壊さない事が前提。
- ・ 元々、自由が丘という街の名前が人を引き付けていた側面があるので、継続性があり良い。
- ・ 自由が丘の名前の認知度はまだあるものの、ブランド力は低下しており、「まち」そのものを選び利用する人は減ってきている。自由が丘でのモノ消費やコト消費をしていただき、自由が丘を選んでもらうためには、弱みの改善が必要。
- ・ 消費だけを重視するのではなく、今まである街のイメージも大事にしてほしい。
- ・ 外から買い物に来てくれるのは良いが、住んでいる人にも居心地のいい場所になって欲しい。
- ・ ネット通販にはない経験、発見を提供できるような商店街の開発が進むと良い。独創性があるものを扱いながらも訪問者を優しく迎え入れる店舗、リアルでの味わえる充足感を提供できる街。また、居住者が安全で心安らかに生活できる環境を両立してほしい。
- ・ まちの価値を向上させ、常に生きているまちをめざすためには『まち消費』の考え方は有効だが、一方で持続可能な地域づくりを考える際に、消費量や、それが与える負荷についても地域住民を巻き込んだ責任あるまちづくりが重要。単に消費量を増やすのではなく、周辺地域との資源循環や環境負荷の低減を見据えた方針が必要。
- ・ 「まち消費」という言葉がイメージしづらい。ネガティブな印象。
- ・ 消費し、使い切った街はその後どうなるのか。まちを消費し、いずれ資源が枯渇する、という印象を持ってしまう。

8.次なる30年にも選ばれ続けるまちづくりについて【自由記述】

今後30年に渡って自由が丘はどのようなまちを目指していくべきか、何かお考えがあればお聞かせください。

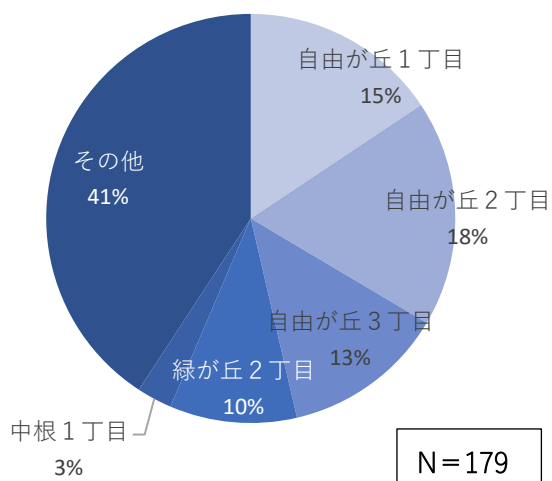
【主なご意見(キーワード)】

- ・ 古き良き自由が丘ブランドが残る街／センスのある街／憧れる街／徹底的にこだわり続けた街／トレンド、スイーツ、グルメの街
- ・ 今の街並みを活かした街／欧州の優雅な街並みを思わせる雰囲気のある街／ヨーロッパのような路地と緑のある街
- ・ 新しい中にも庶民的な雰囲気が残る街／ふるき良き下町の風情すら漂う温かい街／今までのよさを残し、訪れる人々がホッとする街／都心から多少の距離感ありながらも、居心地良い、特色ある街／安っぽくはないが、親しみのある街
- ・ 先進的なウォークアブルな街／ヒューマンスケール・ヒューマンサイズの街／歩きやすい街／歩行者主体の街／駅周辺の小さなエリアごとに個性を持たせ、歩いて発見できる楽しい街／ゆったりとした街／子どもから大人まで安心して買い物・ウォーキングできる街
- ・ おしゃれな街／おいしい街／ハインで気品のある街／ワクワクと伝統のある楽しい街／バラエティに富んだ街／買い物をしたい街／小規模のユニークなお店がある街／自由が丘スタイル（小さな店舗の集合体）の街
- ・ 文化が集散する街／文化にあふれ、個の豊かな暮らしや時間・空間のある街／高い文化性のある街／流行に敏感な人達が訪れる街／おしゃれな方やかっこいい若い男女が集まる街
- ・ ニューノーマル時代の新しいライフスタイルを提案する街／コト体験が可能な居心地の良い街
- ・ 住宅地と共存した街／商業地域と住宅街の混在を壊さない街／人の暮らしとすぐそばにある商店街の感じを持たせた街／商業地と住宅地が分かれた街／地域住民が安心して買い物や憩える街／人々が気持ちよく住み、買い物をし、活動できる街／買い物に依存しない街（自由が丘ブランドの立て直し）
- ・ 住みやすい街／昔から住んでいる人も新しい住民も喜ぶ街／新旧住民が仲良くつながれる街／住民も訪れる人も安全安心に楽しめる街／住む人も訪れる人も居心地の良い街／暮らす人・訪れる人がほっとする街／友人・家族で過ごしたい街／ホッと寛げる治安の良い街／商店街・周辺住民が協力できる街
- ・ 交通が便利な街／電車の利便性を活かした若い人が集まる街
- ・ 綺麗で気持ちよく生活ができる街／掃除が行き届いており清潔な街／清潔・安全・調和のとれた街
- ・ 憩いのある街／オアシスとしての憩いのある／緑が多く、気も心ものびのび出来る街／緑がある、心安らぐ街／人に、自然に優しい街／丘パチがいて緑多い、SDGsの歩いて楽しい街
- ・ 多世代が訪れる街／多世代が住みやすい街／高齢者に優しい街／子育てしやすい街／障がい者にも優しい街／健康分野に力を入れた街
- ・ クリーンな街／コンパクトで緑あふれる住み続けたいと思う街／持続可能な街／サステナブルな街

9.本アンケートにお答えいただいている方について

(1)居住地

自由が丘 1 丁目	自由が丘 2 丁目	自由が丘 3 丁目	緑が丘 2 丁目	中根 1 丁目	その他
28	32	23	18	5	73
16%	18%	13%	10%	3%	41%

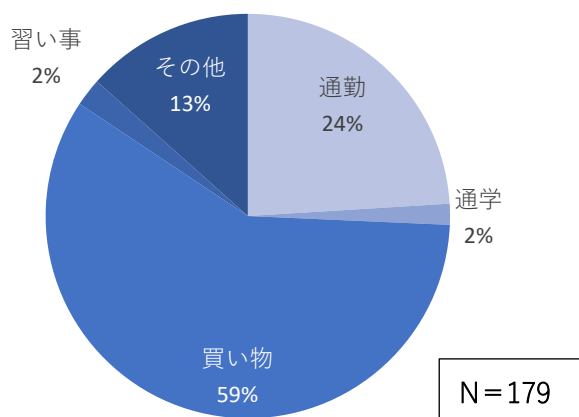


【その他の回答】

・ 柿の木坂、八雲、緑ヶ丘、中根、平町、碑文谷、大岡山、洗足、奥沢、原町、本町、中町、南、その他近傍駅（都立大学駅等）、東京 2 3 区（品川区等）、神奈川県（横浜市、川崎市等） 等

(2)自由が丘駅周辺地区を訪れる主な目的

通勤	通学	買い物	習い事	その他
43	3	105	4	24
24%	2%	59%	2%	13%

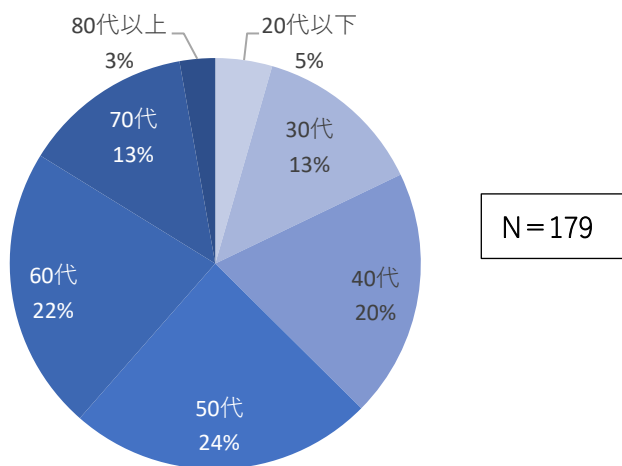


【その他の回答】

・ 居住者、実家・親戚宅等がある、飲食、通院、ウォーキング、子どもの幼稚園、習い事、ジム通い、買い物、美容院、仕事、交友、自分の商店会がある 等

(3)年齢

20 代以下	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	80 代以上
8	24	35	43	40	24	5
4%	13%	20%	24%	22%	13%	3%



(4)性別

男性	女性	その他	未回答
94	83	0	2
53%	46%	0%	1%

